

2017年11月25日発売

# 日本LD学会 公式用語集を大幅改訂!

# LD・ADHD等 関連用語集 第4版



●価格 1,458円(本体 1,350円) ●一般社団法人 日本LD学会 編

用語集第4版編集委員(\*委員長) 宇野 彰/梅永 雄二/大塚 玲/熊上 崇/小林 潤一郎/佐藤 克敏/松田 修/松本 恵美子/\*宮本 信也  
編集協力者 大塚 晃/岡崎 慎治/岡田 智/小林 マヤ/近藤 武夫/関 あゆみ/西谷 淳/松岡 勝彦/若宮 英司/涌井 恵

## 第4版 改訂にあたって (一般社団法人 日本LD学会理事長 柘植 雅義)

日本LD学会の設立は1992年11月で、会員300人台で発足した。発足当時は学会ではなく研究会で、2009年4月に一般社団法人となった。そして、従来の特殊教育から新たな特別支援教育への転換への助走が始まった2001年以降、会員数が急増し、2017年3月1日付けで9,400名ほどに達した。2000年、2001年頃は、1,000名ほどだったので、この16~17年の間に9倍以上に増加したことになる。これだけの短期間にこれだけの会員増を示した学会は他に類を見ないであろう。

一方、2001年3月には特別支援教育士(S.E.N.S)の養成を開始するなど、まさに特別支援教育進展の大きな一翼を担ってきた。当初「LD教育士」と称したが、支援対象がLDだけでなくADHDや自閉症等にも拡大している実情に合わせ、2005年度より現在の名称にするとともに、組織も日本LD学会から特別支援教育士資格認定協会として独立させた。

このような学会と協会の成長の中、関係する基本的な用語を集めた用語集が出版された。初版は2004年で、LD、ADHD、高機能自閉症等、いわゆる発達障害と関連する近隣の障害における、教育、心理、医療、福祉、労働等の諸領域における概念の共有化と啓発、さらには学術的な情報発信の源としての役割を強く意識するとともに、S.E.N.S養成の基本図書という役割を担った。そして、2版が2006年、3版が2011年、そして今回、4版の2017年刊行となった。なお、用語集とは別に、2016年10月には、日本LD学会編『発達障害事典』(丸善出版)が刊行され、発達障害に関する知識を遍く集めて配列し内容を詳しく解説している(用語集とは異なる、いわゆる中項目事典)。

さて、発達障害を巡る近年の動向は極めて目まぐるしい。このような時期であるからこそ、関連する用語集や事典などの意義は高い。そして、そのような状況であるからこそ、2004年の初版から、わずか10年あまりで4版まで改訂されたことは、正にそれを象徴することであり、日本LD学会が関連する用語について、スピーディーにフォローしていることの証しでもある。このことは、本学会が、任意団体ではなく、一般社団法人の資格を持ち、9,000名を超えるこの分野の最大規模の学会となった本学会の責務であろう。学術研究に裏付けられた確かな情報を分かりやすくコンパクトに提供していくことは重要な使命の一つである。

今後は、学会・協会の会員の皆さんと共に、この用語集を共通の財産として育て、最新の情報発信の共通基盤としていきたい。なお、このような用語集や事典類は、刊行時点ですでに古くなっていく、という宿命を持っている。今後も歩みを止めず、さらなる進化、次の改訂に向けて、早くも歩みをスタートさせよう。

最後に、用語の執筆にご協力いただいたたくさんの学会会員の皆様にあらためて心より感謝の意を表したい。そしてまた、本用語集の編集業務にあたった学会員の皆様(本誌の巻末に編集体制を掲載)には、企画・設計・校正、そして、刊行に至るまで、多大なエネルギーの投入と地道な作業があったことを記しておく。(2017年9月)



## 掲載全用語

RTI◎IEP◎ICF◎ICT◎ICD◎愛着◎IDEA◎ITPA言語学習能力診断検査◎アカデミックスキル◎アキュラシー◎アクセシビリティ◎アコモデーション◎アシスティブテクノロジー◎アスペルガー症候群◎アセスメント◎アドボカシー◎いじめ◎一般就労◎インクルーシブ教育システム◎印刷物障害◎インフォームドコンセント◎WISC-IV知能検査◎WAIS-III成人知能検査◎ウェクスラー式知能検査◎うつ病◎URAWSS◎運動企画◎運動機能◎ADI-R◎ADHD-RS◎ADOS-2◎エビジェネティクス◎FM補聴システム◎LCSA学齢版言語・コミュニケーション発達スケール◎LCスケール◎LD◎LDI-R◎LD・ADHD通級指導教室◎援助付き就労◎応用行動分析◎音韻機能◎音韻障害◎音韻性失読◎音韻認識◎音声認識技術◎音声読み上げ◎音素◎音素一書記素変換障害◎音読(能力)年齢◎CARS◎絵画語い発達検査◎介助員◎解読◎カウンセリング◎鏡文字◎書き障害◎書く◎学業不振◎学習困難◎学習指導◎学習指導要領◎学習障害◎学習障害児に対する指導について(報告)◎学力検査◎画像診断◎可塑性◎課題分析◎学校教育法◎学校心理学◎学校心理士◎学校保健安全法◎家庭裁判所◎仮名と漢字の特性◎感覚過敏◎鈍麻◎感覚統合療法◎眼球運動◎緘黙◎キーボード入力◎記憶◎記憶障害◎利き側(側性)◎聞く◎器質的障害◎基礎的環境整備◎吃音◎機能再編成◎機能的障害◎ギフト◎教育委員会◎教育課程◎教育センター・教育研究所◎教育相談◎教員養成◎強化◎境界線知能(境界域知能)◎教科書バリアフリー法◎教材・教具◎矯正教育◎共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)◎共同注意◎強迫症◎近赤外線スペクトロスコープ◎グッドイナフ人物画検査◎グループ別指導◎計算する◎形態素◎KABC-II◎ケース会議◎ケースワーク◎限局性学習症◎言語◎言語障害通級指導教室◎言語発達◎言語(発達)遅滞◎言語療法◎現職教育◎語彙◎抗うつ薬◎構音一書字障害症候群◎光学文字認識◎公共職業安定所◎攻撃性◎高次脳機能障害◎構造化◎抗てんかん薬◎後天性失読◎行動観察法◎高等特別支援学校◎行動評価尺度◎行動分析◎行動問題◎行動療法◎校内委員会◎校内支援体制◎広汎性発達障害◎抗不安薬◎合理的配慮◎語音症◎語義・語用欠陥症候群◎心の理論◎5歳児健診◎呼称◎個人間差◎個人内差◎個人内評価◎語想起◎語想起障害◎個別移行計画◎個別家族支援計画◎個別指導◎個別就労計画◎個別の教育支援計画◎個別の支援計画◎個別の指導計画◎コミュニケーション症◎固有感覚◎雇用管理サポート事業◎雇用率◎語用論◎今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)◎コンサルテーション◎コンセプトマッピング◎コンピューター◎最低賃金◎サイトワード◎サヴァン症候群◎作業療法◎サポート校◎算数障害◎CHC理論◎CBCL◎子音クラスター◎シェイピング◎支援員◎子宮内発育遅延◎視空間認知◎自己決定◎自己調整◎自己評価◎事象関連電位◎自助グループ◎自尊感情◎失語◎失行◎実行機能◎失算◎失書◎実態把握◎失読◎失認◎指導案◎指導仮説◎児童虐待◎児童自立支援施設◎児童相談所◎指導法◎児童養護施設◎自閉症◎自閉スペクトラム症◎自閉スペクトラム症のスクリーニングテスト◎社会的(語用論的)コミュニケーション症◎社会的認知◎就学時健康診断◎習熟度別指導◎就職チューター・職業相談員◎就労移行支援事業◎就労継続支援事業A型◎就労継続支援事業B型◎受容性言語障害◎巡回指導◎巡回相談◎障害者権利条約◎障害者雇用納付金制度◎障害者職業カウンセラー◎障害者職業センター◎障害者職業能力開発校◎障害者自立支援法◎障害者の雇用の促進等に関する法律◎消去◎詳細読み◎小集団指導◎小・中学校におけるLD等のガイドライン(試案)◎情緒障害◎情緒障害通級指導教室◎少年院◎情報処理◎書記素◎職業教育◎職業興味◎職業準備◎職業前訓練◎職業適性◎職業評価◎職業リハビリテーション◎職場実習◎職場定着◎職場適応援助者◎職場適応指導◎職場内評価◎職務分析◎書字障害◎書字表出障害◎ジョブコーチ◎自立活動◎神経学的徴候◎神経心理学◎神経伝達物質◎神経発達症群◎神経変性疾患◎人工内耳◎心身症◎身体図式◎心的外傷後ストレス障害◎新版K式発達検査2001◎髄膜炎◎脳炎◎睡眠障害◎推論する◎数的推論◎数量概念◎スクールカウンセラー◎スクールソーシャルワーカー◎スクリーニング◎STRAW◎スモールステップ◎スローラーナー◎正字法◎精神遅滞◎摂食障害◎セロトニン◎全国実態調査◎染色体異常症◎選択性緘黙◎選択的セロトニン再取り込み阻害薬◎選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害薬◎前庭感覚◎先天性言語◎前頭葉機能◎専門家チーム◎ソーシャルシンキング◎ソーシャルスキル◎ソーシャルスキルトレーニング◎ソーシャルワーク◎素行症◎代替フォーマット◎代読◎代筆◎タイムアウト◎脱抑制型対人交流障害◎多動性◎田中ビネー知能検査◎単一事例研究法◎DAMP症候群◎地域若者サポートステーション◎チームティーチング◎逐次読み◎チック症◎秩序破壊的・衝動制御・素行症群◎知的障害◎知能◎知能検査◎CHAT◎注意◎注意欠如・多動症◎中枢神経刺激薬◎中枢性統合◎聴覚的把持力◎聴覚的弁別◎聴覚認知◎著作権法◎治療教育◎通級指導教室◎通級による指導◎通級による指導に関する充実方策について(まとめ)◎通勤寮◎通常の学級◎通知表◎TEACCH◎DSM◎DN-CAS認知評価システム◎TTAP◎デジジー◎綴字障害◎低出生体重児◎ディスレパシー◎ディスレクシア◎手書き文字障害◎適応指導◎適応障害◎デコーディング◎テストアコモデーション◎テストバッテリー◎てんかん◎動機づけ◎統語(論)◎統合失調症◎トゥレット症◎トークンエコノミー◎ドーパミン◎特異的言語障害◎特異的発達障害◎特異的発達障害診断・治療のための実践ガイドライン◎読字障害◎特殊音◎特殊学級◎読書力テスト◎特別支援学級◎特別支援学校◎特別支援学校教諭免許状◎特別支援教育◎特別支援教育コーディネーター◎特別支援教育士◎特別支援教育支援員◎特別支援教育を推進するための制度の在り方について(答申)◎特別支援教室(仮称)◎特別支援連携協議会◎特別な教育的ニーズ◎トライアル雇用◎取り出し指導◎難読症◎ニート◎二次障害◎21世紀の特殊教育の在り方について(最終報告)◎二次障害仮説◎入出力装置◎乳幼児健康診査◎認知機能◎年間指導計画◎脳機能画像◎脳性麻痺◎脳波異常◎ノーマライゼーション◎PARS◎パーソナリティ障害◎Vineland-II適応行動尺度◎PASSモデル◎発達課題◎発達障害◎発達障害者支援センター◎発達障害者支援法◎発達性協調運動症◎発達性計算障害◎発達性ゲルストマン症候群◎発達性言語障害◎発達性発語失行◎発達性読み書き障害◎話す◎バリアフリー◎ハローワーク◎般化◎反抗挑発症◎判断・実態把握基準◎反応性アタッチメント障害◎ピアカウンセリング◎ひきこもり◎非語◎微細脳機能障害◎非物質関連障害◎評価◎表出性言語障害◎標準失語症検査◎ファミリーサポート◎不安症◎フォニックス◎福祉工場◎符号化◎物質関連障害◎不登校◎フラッシュバック◎フリースクール◎フリーター◎フロスティック視知覚発達検査◎プロソディ◎ペアレントトレーニング◎PEP-3◎萌芽のリテラシー◎保護雇用◎補助代替コミュニケーション◎ボランティアセンター◎ミラーニューロン◎メタ言語能力◎メンタルフレンド◎モウラ(拍)◎文字完成テスト◎モディフィケーション◎薬物療法◎ユニバーサルデザイン◎養護学校◎養護教諭◎抑うつ障害群◎予測変換◎読み書き能力◎読み障害◎読む◎ラピッドネーミング◎ランドウクレフナー症候群◎リーディングルーラー◎理学療法◎リソースルーム◎リテラシー◎リハビリテーション法(504, 508条)◎流暢性◎療育手帳◎臨床心理士◎レイの複雑図形検査◎レーヴン色彩マトリックス◎レスポンスコスト◎レット症候群◎ロールプレイング◎ワーキングメモリー◎ワードアタック

※書籍のご購入は、弊社書籍常備店サクセス・ベル([www.success33.jp](http://www.success33.jp))、amazon、心理検査販売代理店をご利用ください。

